

# 米作りチームの活動

# 米作りチームとは

米の成長を記録したり、米作りのコツなどを  
インタビューするチーム



# 活動内容

- ・稲の観察
- ・グラフにする
- ・ホームページ
- ・インタビュー
- ・檜山の米の良さを調べる

# 檜山の自慢の米 「S米るん♪プロジェクト」



檜山の米作りのこだわり

# 水が美味しい、きれい

生き物チームが檜山川と五十嵐川の水質検査をしました。

きれい  
でした！



# はざかけをしている

機械で乾燥しないで、はざかけをしています。はざかけとは、とれた米を天日乾燥させることです。そうすることで、**美味しくお米**ができます。



# 農薬と化学肥料が少ない

農薬の使用回数

化学肥料の使用回数

基準 18回

基準 6kg

ならやま 9回

ならやま 3kg



農薬を少ししか使わない。

農薬が少ないため、自然の生き物が多いです。





# 自然の肥料をつかっている

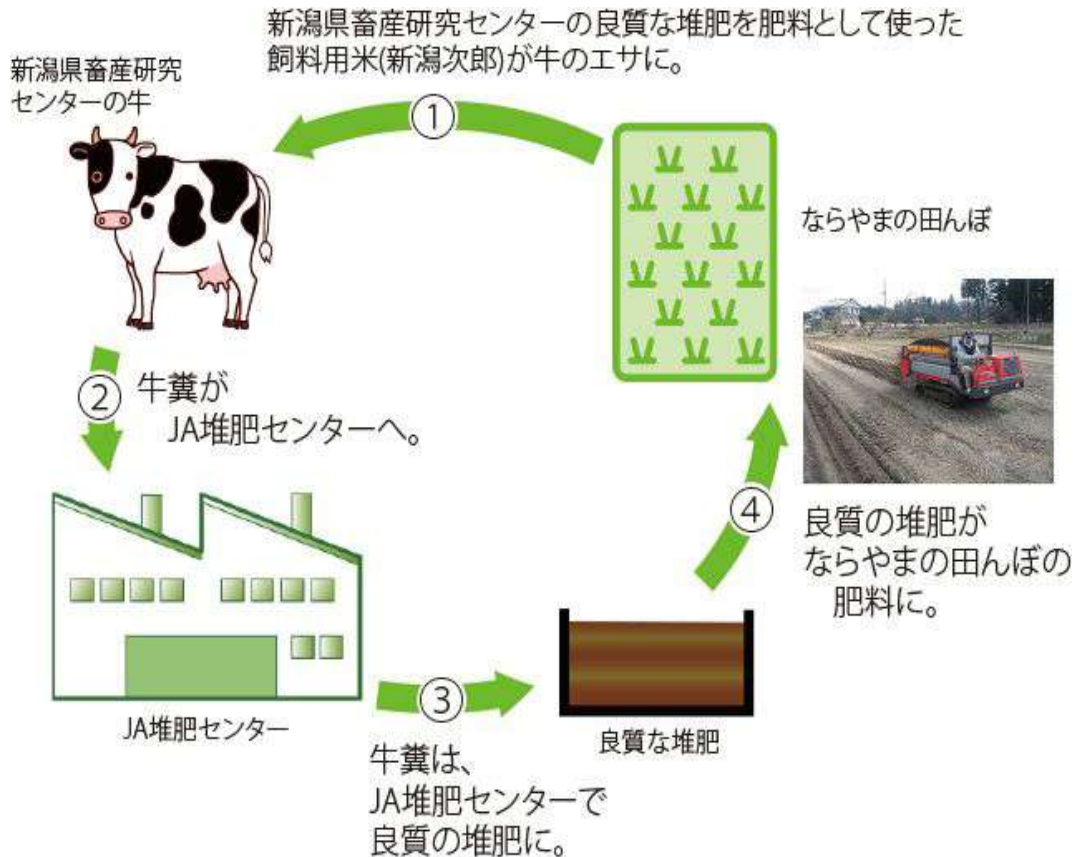
化学肥料を使えばたくさん

取れるのに、自然の肥料を  
使っています。

地力が増し、健康的な田んぼになります。

農薬の使用を極力低く抑える事により、  
栄養が豊富で安心なお米が収穫できま  
す。

ならの里ホームページから

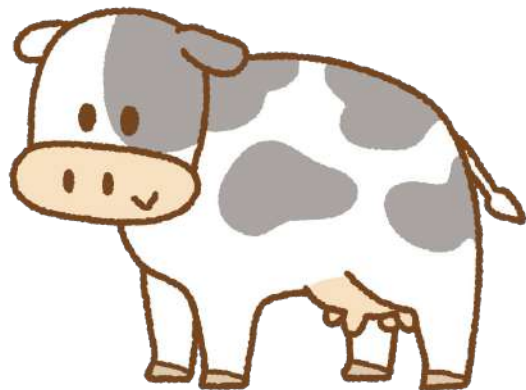


畜産研究センターに質問をしました。



# 牛のフンは、どうやって堆肥になりますか？

1. フンを外に出す
2. もみがらをまぜる
3. 水分調整をする
4. 菌がはたらいて発熱60度 発酵が始まる
5. ひっくり返す(繰り返し)空気を入れる
6. 熟成させる
7. 熱により雑草(雑菌)が死ぬ 水分が熱でとんでサラサラになる
8. 2~3ヶ月で完成 1年中続ける



## この堆肥作りは、いつからですか？

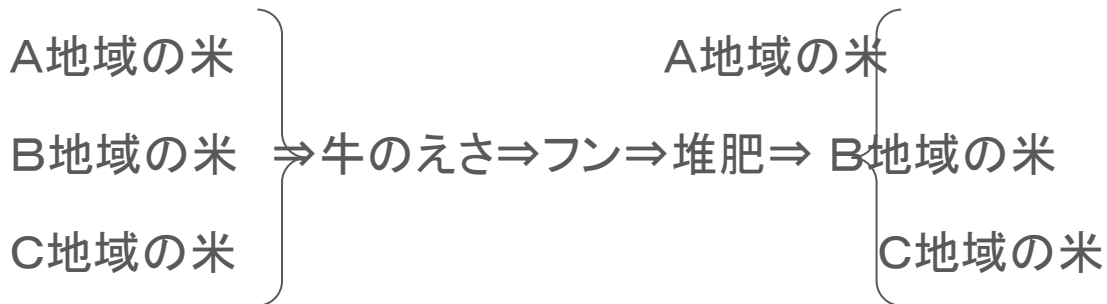
このやり方は、ならやまの米を売ったり堆肥を作る会社農業組合法人ならやまが平成18年に作られたと同時に畜産研究センターと協力して堆肥が作られるようになりました。



# 循環型農業をやっているのはならやまだけですか？

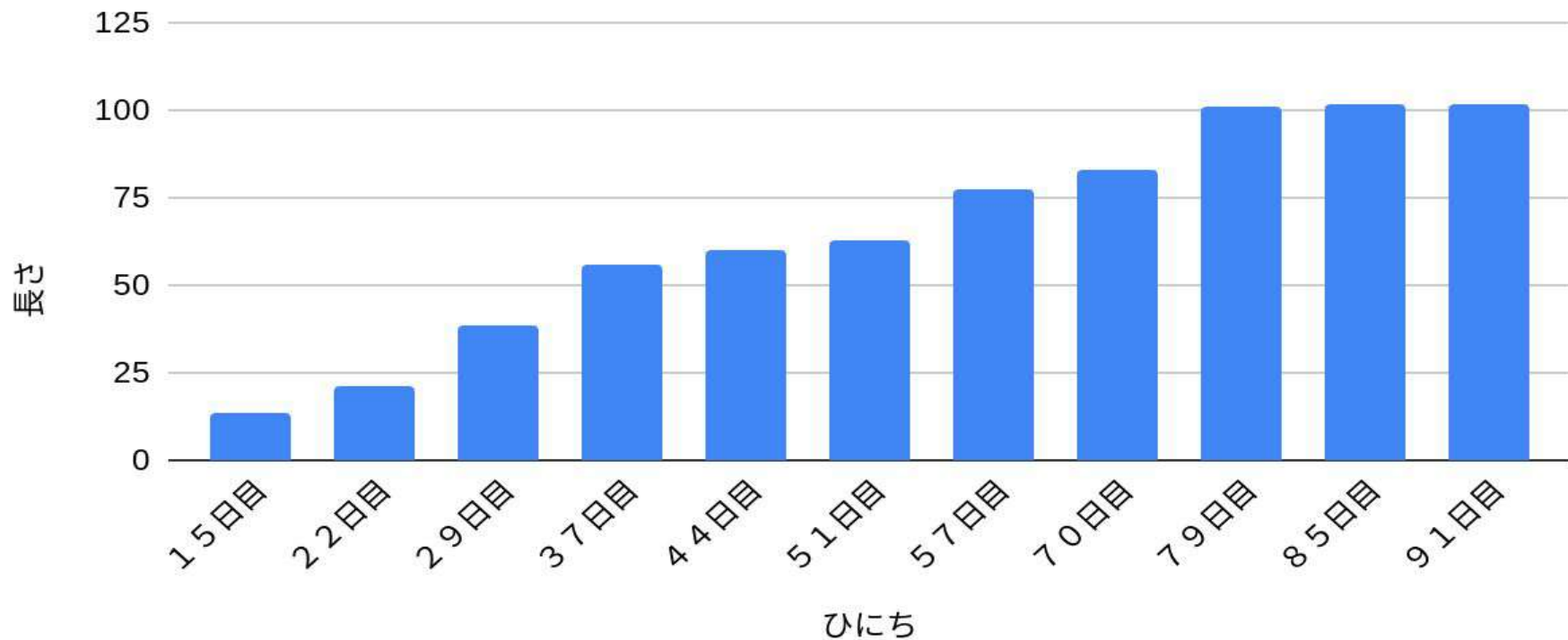
県内にはいくつかある。このあたりでやっているのはならやまだけ。この成果を広く県内の農家に伝えている。

ならやまの米 ⇒畜産センターで牛の餌にする⇒ふん⇒たいひにする。⇒ならやまの田んぼ



# 稲の成長グラフ 一週間ごとに記録しました。

長さ と ひにち



# 田植えの様子

植えるのが楽しかった  
たです。



# 田んぼの成長

植えたときの田  
んぼ  
です。





15日目の田んぼです。



長さは14センチになりました。

# 37日目にみぞができました。

みぞは田んぼ全体に水をいきわたらせるためだよ。



51日目です。



79日目の田んぼです。

花が咲いたところです。



91日目です。

稲刈りができる  
まで成長しまし  
た。



# 稲刈りの様子

嘉藤さんに教えてもらいました。



# はざかけの様子

束をつくるのが難しかったけど、楽しかったです。



**「ふるさと下田の良さ」**

**米づくりに協力してくださる**

**地域の方々の、美味しい米作りへのこ  
だわり。**